



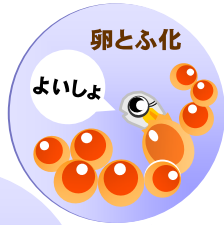
# あぶたんつうしん 107号

## さけ そしょう 鮭の遡上見学会を開催!!

10月26日(水)、阿武隈大堰前の魚道で、地元・逢隈小学校4年生(100名)の「サケの遡上見学会」が行われました。

この時期阿武隈川では、サケが川をさかのぼって遡上する最盛期を迎えています。サケは、水のきれいな川で生まれると、海へ旅立ち、長い旅を続けながら大きく成長した後、3~4年後の秋、卵を産むため再び生まれた川に戻って来ます。

ここ阿武隈大堰は、河口(海)から約10kmに建設された川を横断する施設ですが、魚が川を上ったり下ったり自由に移動できる通り道=「魚道」が右岸と左岸に設けられており、サケはここを通過してさらに上流を目指します。



### 地元小学生が大興奮!!

「わぁ！サケがたくさん泳いでる！」「ものすごく速〜い!!」「どこまで泳いで行くんだろ？」見学会が始まると、あちこちで歓声が上がりました。サケが下流から群れをなして川をさかのぼり、姿を捉えたかと思った瞬間、尾びれで水面を砕き水しぶきを上げながら、アツという間に魚道に吸い込まれて行く様子に、児童たちは大興奮の様子でした。

この日はサケを観察した後、熱心にスケッチをしたり、気付いたことをメモしたりと、自分が見たもの、感じたことをノートに書き込んでいました。

逢隈小では、「探検！阿武隈川」と名付けた総合学習を行っており、一人ひとりがテーマを持って阿武隈川について学んでいます。中には、亘理町の名物「はらこめし」について学習している児童もいるとか。近々、クラスで発表会も行われるそうです。みんな、どんな新しい発見を披露してくれるのか、楽しみですね。

